シネマズライフ

2017年5月19日発行 第124号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音（たかぎ りおん）

【最近のこれはお見事！】『ちょっと今から仕事やめてくる』最近のタイトルはこういう軽いノリが多いのが問題だが、これはこれで面白い。

【最近のこれはまずいぞ！】『オリーブの樹は呼んでいる』オリーブの声が聞こえるとは！っと、思うほど純粋さが無くなった自分が悲しい。

映画の風景　日本の風景

※ 東京大学 ※

『帝一の國』という映画があった。こんな映画だ。

時は4月。赤場帝一は名門私立高校【海帝高校】に進学した。

【海帝高校】は、高校の生徒会長になると必ず内閣入りができるという《伝説》があった。

通産省官僚の赤羽課介を父に持ち、将来は《総理大臣》になると決心していた帝一は、生徒会長になるべく考えを巡らせていた。成功させるにはまず《生徒評議会》に入れる組のルーム長に選ばれなければならないが、多額の寄付と中学の実績で難なくクリア。副ルーム長は親友の榊原光明だ。

1組のルーム長は帝一で、2組のルーム長は幼い頃からのライバル・東郷菊馬。しかし、気になるのは、野心満々の同級生達とは違い、常に自然体で外部入学試験をトップで合格した大鷹弾だ。強烈なライバル心を持つ帝一だが、幼い頃から苦労人の大鷹に一目置くように…。

さて、【海帝高校】の生徒会長選挙が始まった。帝一も将来の会長の地位を得る為に画策するが…。

帝一達が一番に目指す大学は、東京大学。今でも《政治家》を目指す学生達は多いのだろうか？

原作漫画は【政治漫画】だそうだが映画はいわゆる《政治闘争パロディ》でほどよく現実を感じさせるところがうまい。

しかし、パロディとはモデルがあるもの。だが、この映画の面々のモデルはまったく思い出せず、映画とはいえ、力を尽くして挑戦している彼らをみるとなんとも寂しい気持ちがする。

『帝一の國』2017年日本　監督：永井聡　原作：古屋兎丸
出演：菅田将暉 志尊淳 千葉雄大 野村周平 竹内涼真 間宮祥太朗 永野芽郁 古川雄太郎

原作漫画はかなりリアルな政治ネタ満載なのだが宗教キャラはすっぽり抜けていて、続んでほしかったとも思うがこのややこしいご時世、仕方のない事かもしれない(笑)

コラム

今年も多くの超新星が発見された件

夜空の星々はいつも美しい。何もなくいつもキラキラ光っているだけのように見える。

しかし、宇宙にでは多くの自然現象も起こっている。

面白い現象として銀河と銀河の合体現象がある。ハッブル宇宙望遠鏡で二つの銀河NGC2207とIC2163の合体過程を捕えられており、同じ現象は結構多くの星で観測されている。

記憶に新しいのは、1994年7月16日20時11分。木星に彗星が衝突し、数十個の破片が木星に飲み込まれた現象。当時は千年に一度と言われていたが、その後同じような現象が木星で起こっており、その後の研究で過去にもあったそうだ。

↑ケフェウス座の渦巻銀河NGC6946

また、今年5月14日5時40分ごろ(世界時。日本時では同日14時40分ごろ)ケフェウス座のNGC6946に超新星が観測された。超新星とは、**【大質量の恒星が、その一生を終えるときに起こす大規模な爆発現象】**の事。この爆発の後、ゆっくりと《新しい星》への誕生へつながると言われている。

この数年映画界では多くの俳優達が誕生している。今回紹介した『帝一の國』の菅田将暉・千葉雄大・志尊淳…。どんな世界でも同年代のライバルが多くいると切磋琢磨し成長する。彼らを見ているとこれからの《新しい星》がいる映画界が楽しみだ。

多くの星が誕生する宇宙を想像しながらそんな事を考えていた。

↑ハッブル宇宙望遠鏡による
NGC 2207とIC 2163

アストロアーツ Web・Wikipediaを参考にさせていただきました。m(_ _)m

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『ファインディング・ニモ』

WOWOW

2003年 アメリカ
監督脚本原案:アンドリュー・スタントン
製作総指揮:ジョン・ラセター
脚本:ボブ・ピーターソン デヴィッド・レイノルズ
出演:アルバート・ブルックス エレン・デジェネレス
アレクサンダー・グールド ウィレム・デフォー

5月20日（土）16:00（吹）【プライム】
6月22日（日）17:00（吹）【プライム】
6月25日（日）7:00【シネマ】

オーストラリアのグレートバリアリーフ。
カクレクマノミと妻のコーラルはこれから卵から生まれるのを楽しみにしていた。ところが突然！バラクーダ（オニカマス）に襲われコーラルと卵達を失ってしまう。悲しむマーリンだったが一つだけ卵が残っていたのを見つける。生まれたのはニモ。マーリンは、たった一匹残ったニモをかわいがる。
やがて成長したニモは、学校に通うようになるが、マーリンは心配で学校にまでついて行く始末。ところが、ニモが泳いでいるときに、うっかりシドニーから来たダイバーに捕まってしまう。驚いたマーリーが、助けに行くが簡単に見つかるはずもなく右往左往するが、途中でナンヨウハギのドリーと出会い健忘症だが字の読めるドリーとニモを探しに冒険の旅に出る…。
ニモもかわいいが、脇役・ドリーのすっとぼけぶりがおかしい。

『ファインディング・ドリー』

WOWOW

2016年 アメリカ
監督 脚本 原案:アンドリュー・スタントン
製作総指揮:ジョン・ラセター
脚本:ヴィクトリア・ストラウス
出演:エレン・デジェネレス アルバート・ブルックス
アレクサンダー・グールド ウィレム・デフォー
ダイアン・キートン

5月20日（土）17:45（吹）【プライム】
6月22日（日）18:45（吹）【プライム】
6月25日（日）8:45【シネマ】

再び、オーストラリアのグレートバリアリーフ。一年前、カクレクマノミのマーリンは、ニモを一緒に探してくれたドリーともなかよく暮らしていた。ある日、ニモの遠足に付き添ったドリーは激流に巻き込まれ気を失ってしまう。
気が付いた時、ずいぶんと昔に同じような事があり父親と母親の事も思い出す。そこで、ドリーは、思い出した「カリフォルニア モロ・ベイの宝石」という言葉を手掛かりに、ニモとマーリーと共に旅に出る。
やがて、ドリーのふるさとが《海洋生物研究所》だった事が判明！早速潜り込んだドリーに、マーリンとニモも両親を探すのに協力するのだが…。
『ファインディング・ニモ』で主役をすっかり食っていたドリーが主役に。主役だけに少ししっかりしています。

「TOO YOUNG TO DIE！ 若くして死ぬ」

2016年 日本
監督 脚本：宮藤官九郎

出演：長瀬智也 神木隆之介 尾野真千子 桐谷健太 皆川猿時 古田新太 荒川良々 中村獅童 田口トモロヲ

高校生の大助は、同級生・ひろ美に告白しようとしていたところ、バス事故に遭って死んでしまう。
そして気が付いたところは、多くの人が苦しむ【地獄！】。驚く大助だったが地獄も楽しそうだ。
しかし、現世への未練が一つ。
「ひろ美ちゃんに会いたい！キスしたい！」
しかし、ここは地獄。そう簡単に現世には戻れない。
ところが、地獄農業高校軽音楽部顧問にしてロックバンドの《地獄図（ヘルズ）》リーダーの赤鬼のキラーKが現れ、「えんま様」の采配で現世に戻れるという事を告られげる。…ただし、7回だけで、それも最後まで天国に戻れないと《鬼》になってしまうのだ！。
そこでひろ美ちゃんに会いたいばかりにえんま様のご機嫌を取りなんとか現世に戻るが、人間に戻るとは決まっておらず、鳥になったり虫になったり…、悪戦苦闘の末、やっと現世の様子も少しづつわかってきて…。
昔は《子役》は大成しないと言われていたが、最近は坂上忍からこの映画の主人公演じる神木隆之介まで大成する子役は多く、神木君はその中でも【逸材！】。これは世界的な傾向でもあります。
でも、宮藤官九郎監督が描くトリッキーな地獄は、実に楽しそうなのがこの映画の欠点かと。

↑地獄草紙 東博本 曼火宮

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

先週はお休みして申訳ありませんでした。m(_ _)m ☆次回発行は6月2日。発行予定は第一・三金曜日です。

【編集後記】

☆今の日本映画界では【青春映画】多く作られており、若手俳優達がいう事情もあるのだろう。しかし、実力派の若い俳優が増えるのはいい事だと思う。とくに菅田将暉は24オにして《カメレオン俳優》と言われており、他の若手俳優が出ている『帝一の国』はエポックな作品になるかもしれない。

皆さまお体大切に！
かしこ m(_ _)m

シネマズライフ124号
発行人：貴樹諒音
発行日：2017年5月19日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

シネマズライフーcinemaz-lifeー １２４号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《ＷＯＷＯＷ》
『ファインディング・ニモ』
『ファインディング・ドリー』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆
お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

『オススメ犬映画』
http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。
cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.